

令和4年度佐伯市学力定着状況調査 結果総括


令和5年2月
佐伯市教育委員会

【用語解説】

◇目標値…学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した児童生徒の割合。

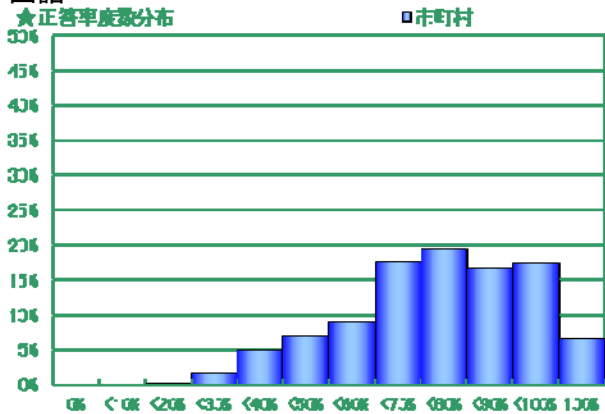
◇正答率…個々の設問について用いる場合は、その設問に正答した児童生徒の割合。

※教科総合・領域・観点などにおけるクラス・学年などの集団データとして用いる場合は、対象となる全設問におけるその集団の正答率の平均値。

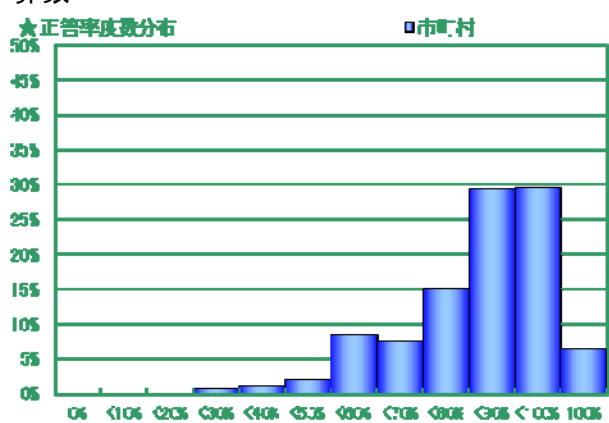
※各学年ごとの結果総括において、目標値及び全国平均を超えた佐伯市の数値には  を施しています。

<小学校1年>

国語



算数

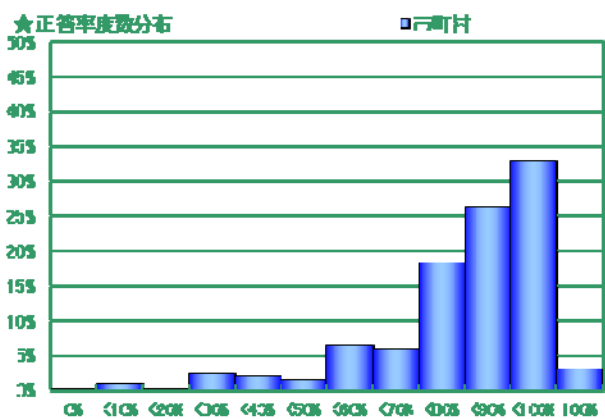


国語・・・60%台～90%台の層に広がった分布である。30%未満の下位層は少ない。

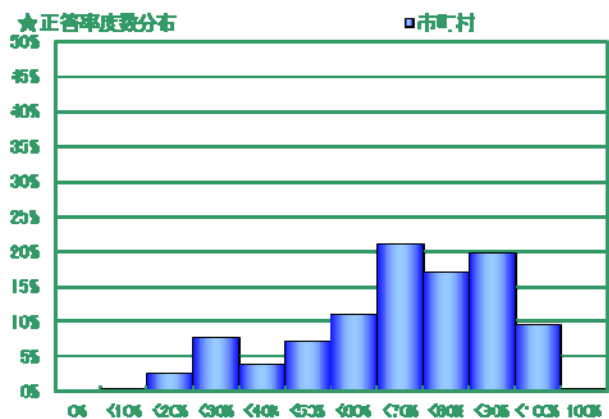
算数・・・80%台～90%台の層が全体の中で突出し、40%未満の層はほとんど見られない。
良好な分布となっている。

<小学校2年>

国語



算数

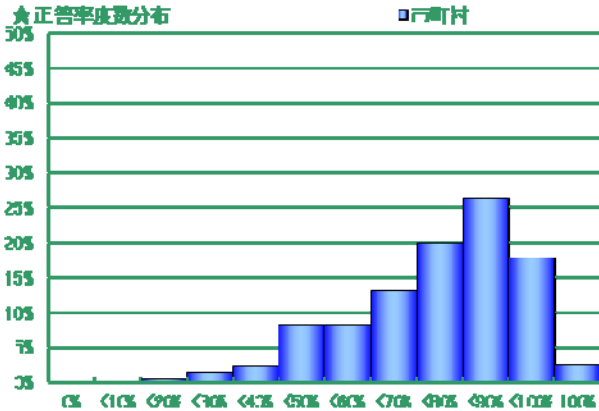


国語・・・80～90%台の上位層が多い分布になっている。また、30%未満の下位層が若干見られる。

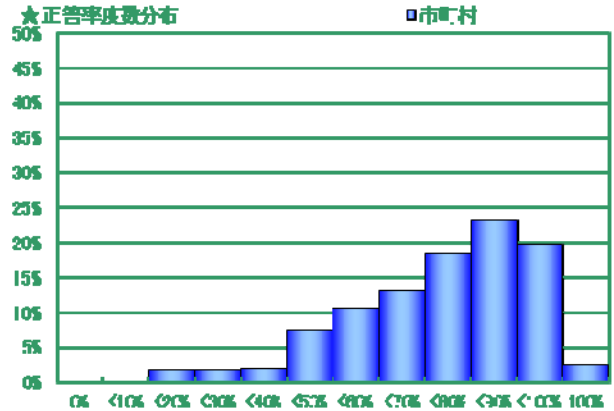
算数・・・60%台の層が最も多くなっており、全体的にでこぼこした分布になっている。
30%未満の下位層が多くなっている。

<小学校3年>

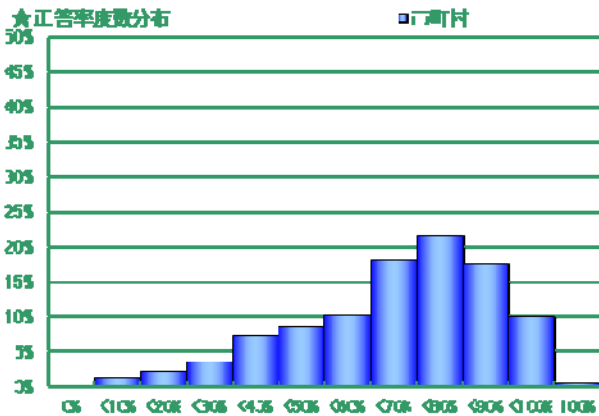
国語



算数



理科



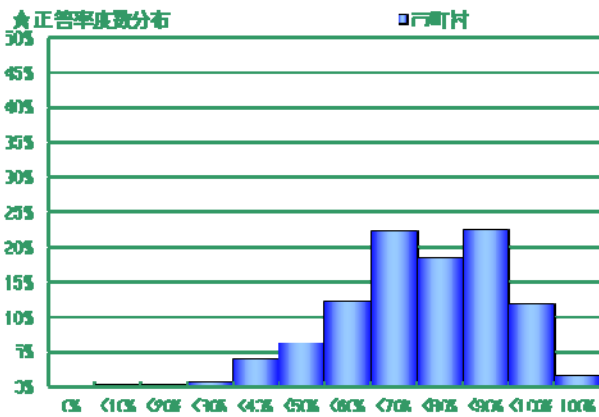
国語・・・80%台の層が最も多くなり、次いでその前後の層が多く見られる分布である。30%未満の下位層は少ない。

算数・・・80%台が最も多くなり、次いでその前後の層が多く見られる分布である。30%未満の下位層が一定程度見られる。

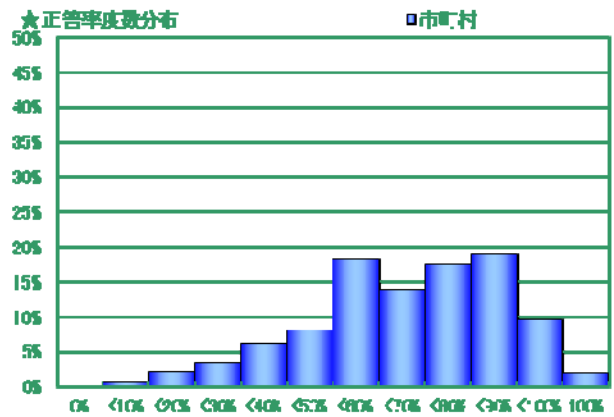
理科・・・70%台が最も多くなり、次いでその前後の層が多く見られる分布である。30%未満の下位層が多くなっている。

<小学校4年>

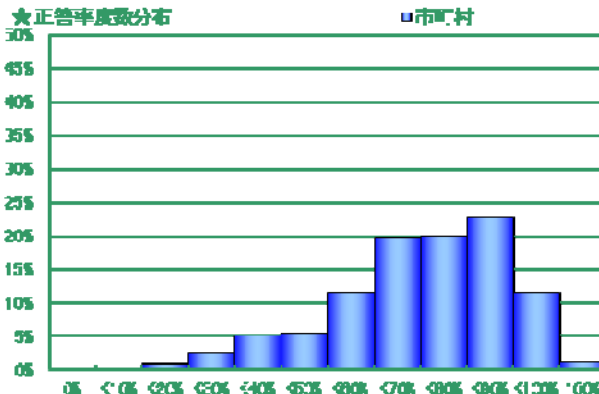
国語



算数



理科



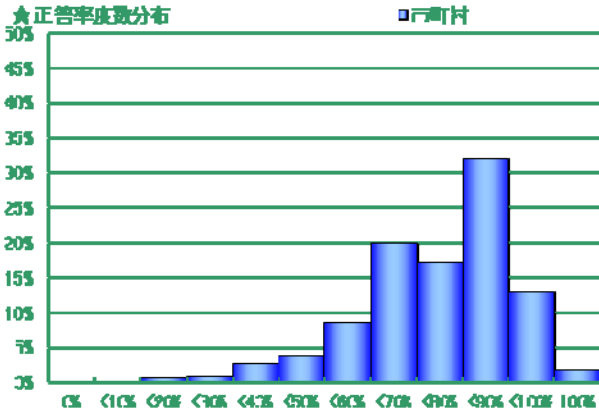
国語・・・60%台と80%台の層が多く全体的にでこぼこした分布になっている。30%以下の下位層は少ない。

算数・・・50%台と80%台の層が多く全体的にでこぼこした分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

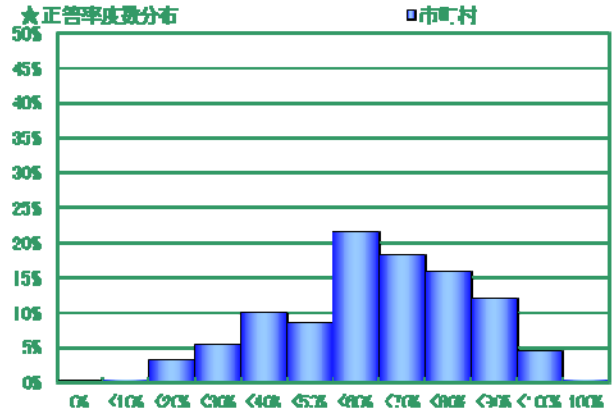
理科・・・80%台の層が多く、次いで60%台、70%台の層が多く見られる分布である。30%未満の下位層が一定程度見られる。

<小学校5年>

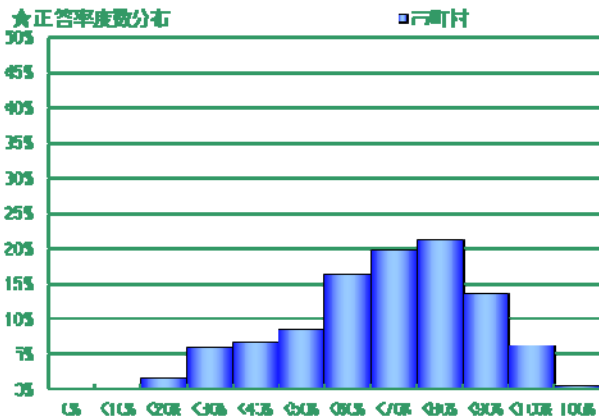
国語



算数



理科



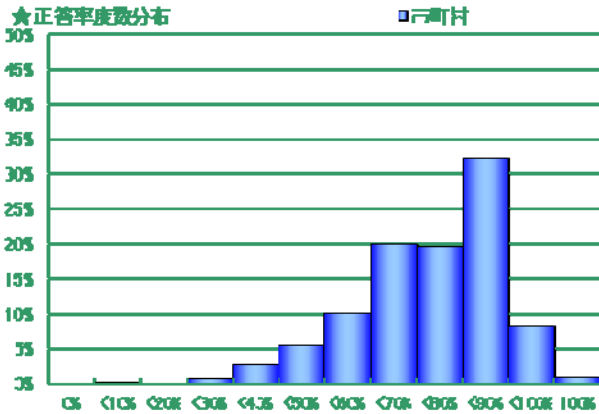
国語・・・80%台の層が突出して多く、次いで60%台の層が多く見られる分布である。30%未満の下位層は少ない。

算数・・・50%台の層が最も多く、次いで60%台、70%台の中位層が多く見られる分布である。30%未満の下位層が多くなっている。

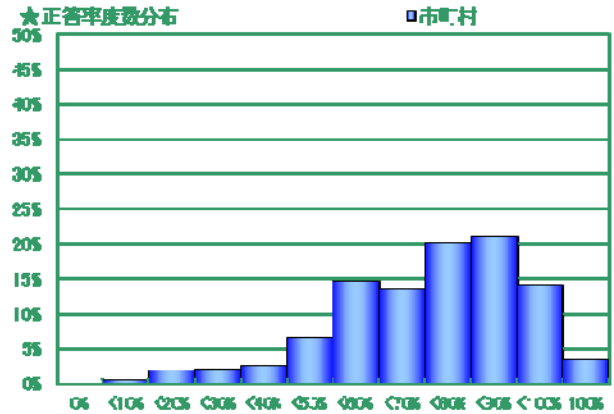
理科・・・70%台の層が最も多く、次いで60%台の中位層が多く見られる。30%未満の下位層が多くなっている。

<小学校6年>

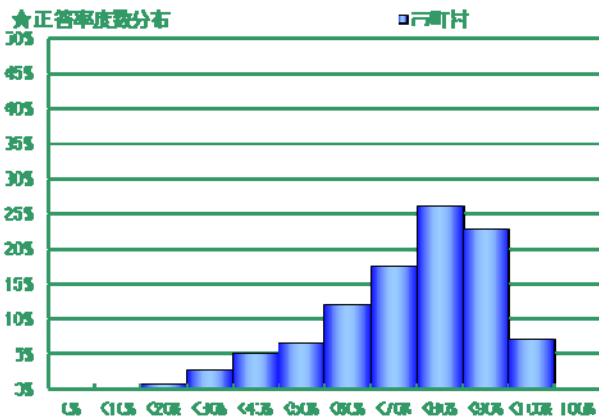
国語



算数



理科



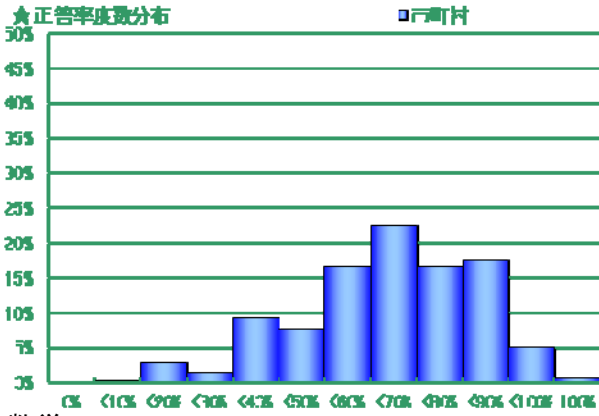
国語・・・80%台の層が突出して多く、次いで60%台、70%台の層が同じぐらいの割合で見られる。30%未満の下位層は少ない。

算数・・・70%台、80%台の層が多く、次いで50%台の層が多く見られる少しくぼこした分布になっている。30%未満の下位層が一定程度見られる。

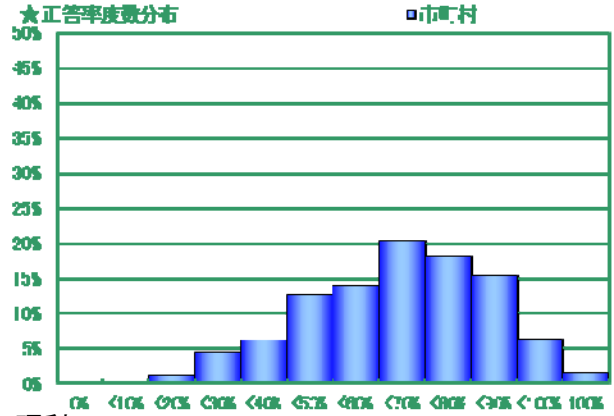
理科・・・70%台、次いで80%台の層が多く見られる分布になっている。30%未満の下位層が一定程度見られる。

<中学校1年>

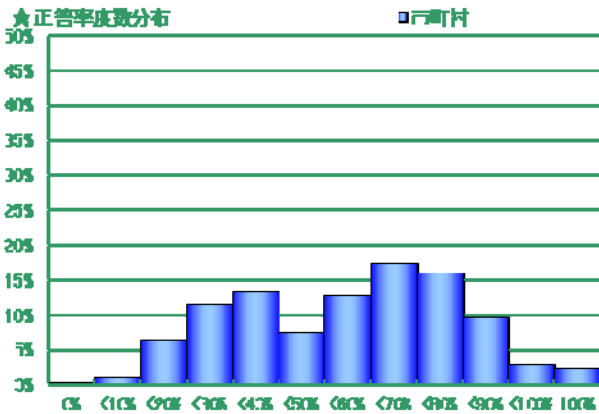
国語



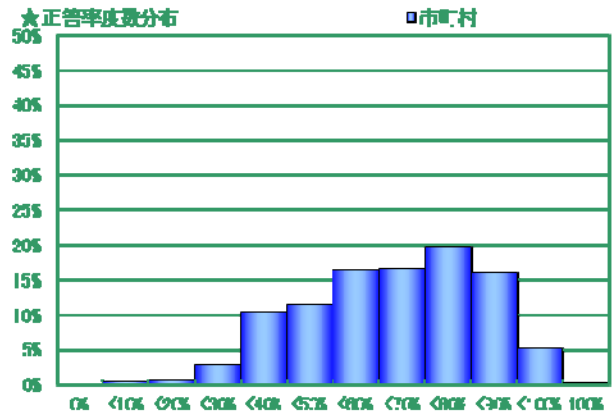
社会



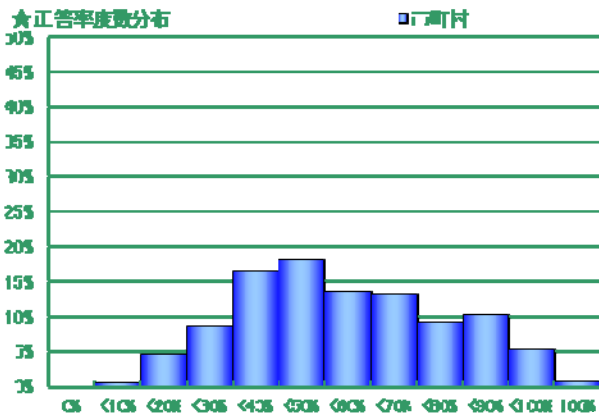
数学



理科



英語



国語・・・60%台の層が多く、次いでその前後の層が多く見られる分布である。30%以下の下位層が一定程度見られる。

社会・・・60%台、次いで70%台、80%台の層が多い分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

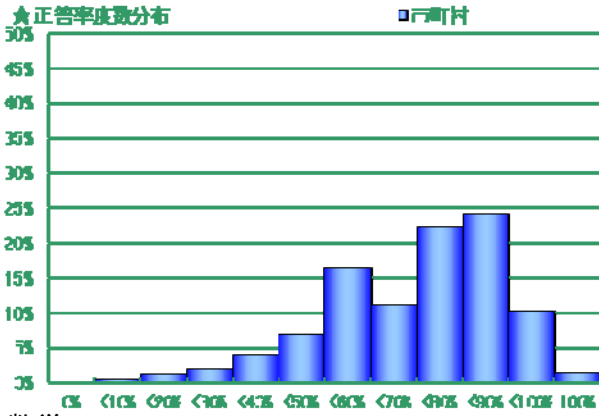
数学・・・60%台、70%台の層が多い一方、20%台、30%台の層も多く二極化に近い分布になっている。よって、下位層も多くなっている。

理科・・・70%台の層が多く、ついで50%台、60%台、80%台の層が多く見られるなだらかな分布になっている。30%未満の下位層が一定程度見られる。

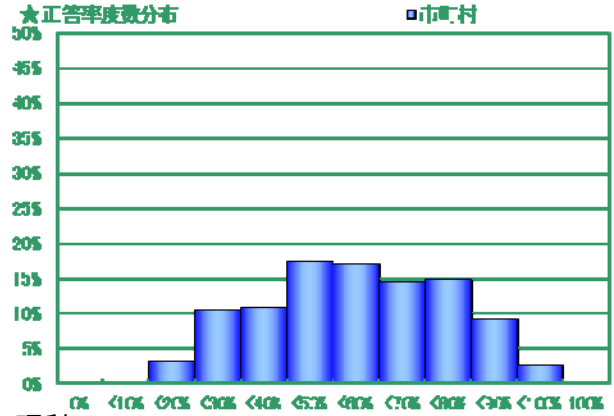
英語・・・40%台の層が最も多く、上位層が少ない分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

<中学校2年>

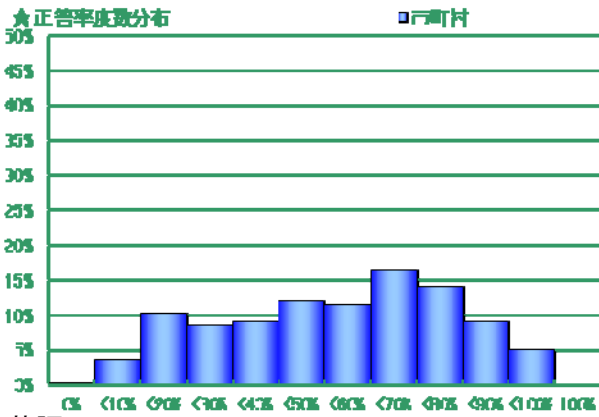
国語



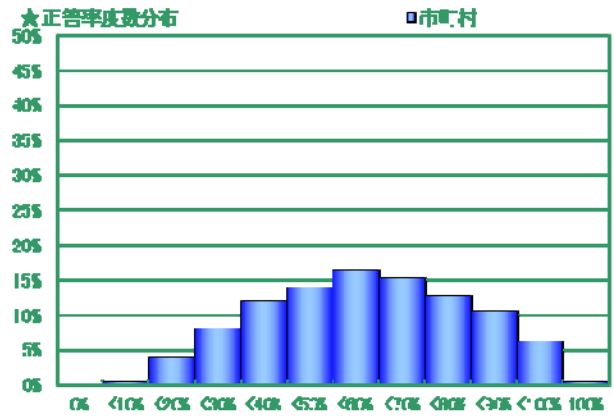
社会



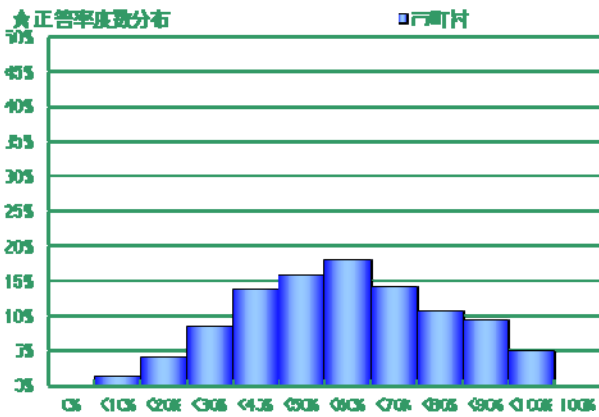
数学



理科



英語



国語・・・70%台、80%台の層が多く、次いで50%台の層が多く見られでこぼこした分布になっている。30%以下の下位層が一定程度見られる。

社会・・・40%台、50%台の層が多いなだらかな分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

数学・・・60%台の層が多いなだらかな分布になっているが、広く一定程度の分布が見られる。30%未満の下位層が多くなっている。

理科・・・50%台の層が多く全体的になだらかな分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

英語・・・50%台の層が多く、その周辺の層が多い分布になっている。30%未満の下位層が多くなっている。

令和4年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校1年＞

国語				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、活用が全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は「書くこと」「読むこと」の領域で全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、「漢字をよむ」の内容において3.6ポイント「ことばの学しゅう」の内容において3.5ポイントの差がある。漢字を正しく読む、正しく書くことの確実な習得、さらに、ひらがな及びかなの確実な習得に向けて、各教科や家庭学習等、様々な場面で繰り返しの指導が必要である。</p> <p>また、「きいたことをもとにはっぴょうする」の問題では無解答率が18.9%である。尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合うといった言語活動を位置付けた国語科の授業、および、生活科や日常の活動のなかでの表現活動を積み重ねていくことが大切である。</p>	
全体	73.3	73.5	74.6		はなしをききとる	71.0	80.0		72.7
基礎	80.3	80.0	82.8		かん字をよむ	84.8	83.3		88.6
活用	60.2	61.3	59.4		ことばの学しゅう	80.7	79.2		84.2
言葉の特徴や使い方	85.4	83.1	89.3		ものがたりをよみとる	60.7	61.7		62.4
情報の扱い方	58.6	60.0	58.1		せつめい文をよみとる	77.4	71.7		75.4
話すこと・聞くこと	55.9	65.0	57.4		きいたことをもとにはっぴょうする	33.2	42.5		34.6
書くこと	84.5	80.0	81.6		文しよをかか	84.5	80.0		81.6
読むこと	69.0	66.7	68.9						

算数				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、活用が全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は、すべての領域で全国平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、「ひきざん」「3つのかずのけいさん」の内容で全国平均を上回った。その他の内容も全国平均と大きな差は見られない。</p> <p>しかし、「必要な要素を選び、適切な文章問題をつくる問題」(正答率34.8%・無解答率11.9%)「テープに写し取ったドアの幅と窓の幅を間接比較する問題」(正答率33.6%・無解答率21.5%)は、課題が残った。式や絵などの与えられた情報を取り出し、作問して表現する(書く)力を育成する必要がある。また、児童の生活と関連させた授業を行う中で、ながさやかさの量感を育てたり、量の比較の方法を見出したりする機会を設定する必要がある。</p>	
全体	81.6	79.9	82.2		20までのかず	83.8	82.9		84.6
基礎	84.9	83.5	85.9		たしざん	86.3	84.5		87.2
活用	67.5	64.3	66.0		ひきざん	72.4	70.0		71.8
数と計算	82.1	80.2	82.2		3つのかずのけいさん	87.6	85.0		86.7
図形	85.3	86.7	88.0		かたち	85.3	86.7		88.0
測定	77.0	74.0	78.2		ながさ・かさ	71.8	70.0		73.5
					なんじなんじはん	84.7	80.0		85.4

令和4年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校2年＞

国語				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、「書くこと」の領域のみ、全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、「漢字を読む」の内容において6.0ポイントの差がある。漢字を正しく読む、正しく書くことの確実な習得に向けて、各教科のノートや家庭学習等、様々な場面で指導したりしていくこと、繰り返しの指導が必要である。</p> <p>また、「話し合いをもとに発表する問題」では、正答率が10.8%、無解答率が14.7%である。尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合うといった言語活動を位置付けた国語科の授業、および、生活科や日常の活動のなかで表現活動を行い、文を書く活動と関連させていくことが必要である。</p>	
全体	79.7	77.7	82.0		話を聞き取る	86.5	83.3		86.1
基礎	86.0	84.0	89.3		漢字を読む	88.6	90.0		94.6
活用	69.3	67.2	69.9		漢字を書く	94.0	90.0		97.6
言葉の特徴や使い方	89.0	87.8	93.9		言葉の学習	84.6	82.5		88.5
情報の扱い方	69.3	68.3	70.5		物語を読み取る	70.4	66.7		73.5
話すこと・聞くこと	62.5	66.0	62.9		説明文を読み取る	82.0	80.0		82.7
書くこと	85.8	75.0	84.7		話し合いをもとに発表する	26.2	40.0		28.2
読むこと	76.2	73.3	78.1		文章を書く	85.8	75.0		84.7

算数				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、「数と計算」「測定」の領域ともに全国平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、「ひき算」の問題で正答率に7.3ポイントの差がある。「3けた-2けたの波及的繰り下がり」や「減法の文章問題を表した図の理解」に課題があることから、文章問題から図に表し立式する活動を位置付け、問題・図・式の関連を理解させる等、日常授業の中での習熟が必要になる。</p> <p>また、「結合法則を用いた計算の仕方を説明する問題」は正答率が14.4%、「長さも加法の計算ができることを理解し、短い方の線を求める問題」は無解答率が29.0%と課題が残った。計算を工夫することのよさを見出させ、活用させていく場を多くもつ必要がある。さらに、具体的操作から量(長さ)の理解につなげたり、量の計算と説明を結び付けたりする数学的活動の場を設定する必要がある。</p>	
全体	64.9	69.7	70.0		1000までの数	79.2	80.7		81.8
基礎	72.2	76.5	76.8		たし算	58.2	65.0		64.8
活用	40.1	46.9	47.2		ひき算	59.7	68.3		67.0
数と計算	69.9	74.2	74.9		かけ算	83.1	83.3		86.3
測定	50.3	56.7	56.1		長さ・かさ	47.7	53.3		53.4
					時刻と時間	55.4	63.3		61.4

令和4年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜小学校4年＞

国語				佐伯市	目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、活用は全国平均を上回り、基礎は全国平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、「情報の扱い方」「我が国の言語文化」「読むこと」の領域で、全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、「言葉の学習」の内容において3.9ポイントの差がある。漢字の確実な習得に向けて、各教科のノートや家庭学習等、様々な場面で指導したりしていくこと、繰り返しの指導が必要である。</p> <p>また、「文章を書く」の内容では、無解答率が11.4%である。取材メモをもとに新聞にのせる文章を書くことができていなかったため、内容の中心を明確にし事実を伝える文章を書くといった言語活動を位置付け、事実に基づいて自分の考えを書く学習を積み重ねる必要がある。</p>
教科の正答率	全体	71.1	69.0	72.0	問題の内容別正答率	話し合いの内容を聞き取る	73.4	73.3	76.5					
	基礎	77.2	74.7	78.9		漢字を読む	97.0	90.0	96.9					
	活用	59.5	58.3	59.1		漢字を書く	71.7	73.3	75.6					
領域別正答率	言葉の特徴や使い方	80.3	76.8	82.8		言葉の学習	79.5	76.0	80.9					
	情報の扱い方	61.9	56.7	59.1		物語の内容を読み取る	66.6	66.7	66.1					
	我が国の言語文化	81.1	80.0	77.9		説明文の内容を読み取る	69.2	65.0	67.9					
	話こと・聞くこと	61.4	62.0	63.3		調べてわかったことを発表する	43.3	45.0	43.4					
	書くこと	57.6	55.0	58.2		文章を書く	57.6	55.0	58.2					
	読むこと	67.9	65.8	67.0										

算数				佐伯市	目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、活用は全国平均を上回り、基礎は全国平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、全ての内容で全国平均を下回った。中でも「億と兆・概数の表し方」が7.1ポイント下回り課題が残った。「ある位までの概数の表し方」の正答率が低くなっているため、概数の意味や四捨五入の方法について理解させる必要がある。</p> <p>また、「小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を説明する問題」は、正答率12.6%、無解答率21.7%となった。「5.4は0.01が540こ」等の数の構成の理解や理解したことを基にした説明する力の習熟が必要になる。日常の授業の中で「説明の基本形」等を作成し、児童が互いに説明し合う中で不足部分を補っていく活動を促していくことが重要である。</p>
教科の正答率	全体	65.8	66.3	68.3	問題の内容別正答率	億と兆・概数の表し方	76.2	80.0	83.3					
	基礎	70.4	71.1	74.2		わり算	65.8	65.0	67.2					
	活用	55.6	55.5	55.5		小数	62.5	65.0	63.2					
領域別正答率	数と計算	66.7	67.3	69.2		計算のきまり	67.2	67.5	68.8					
	図形	63.0	62.5	65.4		垂直・平行と四角形	46.7	48.3	48.6					
	変化と関係	60.8	57.5	62.5		角の大きさ	79.2	76.7	82.2					
	データの活用	63.9	65.0	66.6		簡単な場合についての割合	60.8	57.5	62.5					
						折れ線グラフ	63.9	65.0	66.6					

理科				佐伯市	目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、全ての内容で全国平均を下回った。中でも「天気の様子と気温」の内容は、全国平均を9.6ポイント下回った。特に「観察で得られた結果をもとに、根拠のある予想を立てる問題」は、正答率が12.8%と低く、全国平均と比較しても17.4ポイント下回った。複数の情報を比較し、わかったことから予想されことを考えるような活動を苦手とする児童が多いので、丁寧に指導していく必要がある。また、記述の型を活用するなどして自分の考えをわかりやすく端的に表すことができるような力をつけていくことが大切である。</p> <p>さらに、「気温をはかる条件を理解する」問題では、正答率が全国平均と比較すると、9.8ポイント下回った。「百葉箱の中の記録温度計は地面からどれくらいの高さになるように置かれているか」を問う問題であったが、実験道具の仕組みや使い方等の正しい知識を定着させる必要がある。</p>
教科の正答率	全体	68.5	68.8	71.8	問題の内容別正答率	1年間の植物の成長	87.7	83.3	88.9					
	基礎	75.5	74.1	78.1		1年間の動物の様子	61.6	62.5	64.0					
	活用	49.2	54.4	54.6		天気の様子と気温	42.8	53.3	52.4					
領域別正答率	物質・エネルギー	66.4	66.0	68.9		電気のはたらき	74.3	71.3	75.4					
	生命・地球	69.5	70.3	73.3		動物の体のつくりと運動	78.7	77.5	80.8					
						月と星	73.5	74.2	77.8					
						物の体積と力	63.7	63.3	66.0					
						物の体積と温度	58.6	61.7	63.3					
						雨水の行方と地面の様子	59.3	57.5	62.0					

令和4年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜中学校1年＞

国語				佐伯市	目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均	＜結果概況＞ ○教科の正答率は、基礎、活用ともに全国平均を上回った。 ○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。
教科 の 正 答 率	全体	63.6	55.8	59.0	問題 の 内 容 別 正 答 率	話し合いの内容を聞き取る	70.2	66.7	67.8	＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、全ての内容で全国平均を上回った。「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめる問題」と「情報と情報のとの関係について理解し、必要に応じて質問しながら話の内容を捉える問題」の無解答率が高かった(18.7%・19.9%)。計画的に情報と情報の関係について理解をして文章の構成を考えたり、根拠を明らかにしながら自分の考えが伝わるように文章を書く活動の充実を図る必要がある。				
	基礎	70.7	61.8	65.7		漢字を読む	69.7	63.3	65.1					
	活用	50.1	44.4	46.3		漢字を書く	78.3	70.0	76.9					
領域 別 正 答 率	言葉の特徴や使い方	68.3	60.6	64.3		文法・語句に関する事項	58.3	48.8	51.7					
	情報の扱い方	48.9	43.3	46.4		説明文の内容を読み取る	56.7	48.3	52.5					
	我が国の言語文化	61.9	50.0	53.8		文学作品の内容を読み取る	61.5	56.7	59.9					
	話すこと・聞くこと	61.9	57.5	60.0		職場体験の話を書く	53.6	48.3	52.1					
	書くこと	62.5	48.8	51.2		文章を書く	62.5	48.8	51.2					
	読むこと	59.1	52.5	56.2										
社会				佐伯市		目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均
教科 の 正 答 率	全体	62.5	60.3	61.5	問題 の 内 容 別 正 答 率	世界の姿	65.2	61.3	62.8	＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、日本の姿及び飛鳥時代～平安時代以外の内容は全国平均を上回った。問題別では「東南アジアの経済発展についての理解をもとに資料を読み取る問題」で全国正答率を9.4ポイント下回わり、「日本と東アジアの関わりについての理解をもとに、複数の地図を読み取る問題」では全国正答率を3.5ポイント下回った。 地理的分野の学習においては、分布図や円グラフ、帯グラフなど様々な形式の資料から情報を取り出してまとめる練習をしたり、歴史的分野の学習においては、歴史の出来事と地図を結び付けて考える学習を取り入れ、既習内容と資料を結び付けて考察する場面を増やす必要がある。				
	基礎	67.5	64.8	65.3		日本の姿	57.3	58.8	57.4					
	活用	48.9	48.1	51.0		世界各地の人々の生活と環境	67.5	60.0	62.4					
領域 別 正 答 率	地理	62.4	60.0	60.2		世界の諸地域	61.0	60.0	58.8					
	歴史	62.7	60.7	62.8		古墳時代まで	67.1	64.3	66.9					
						飛鳥時代～平安時代	58.8	57.5	59.2					
数学				佐伯市		目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均
教科 の 正 答 率	全体	54.5	52.1	49.5	問題 の 内 容 別 正 答 率	正の数・負の数	67.7	64.3	63.2	＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では「文章問題を解くための方程式を立式する問題」で目標値を14.1ポイント下回った。文章問題から立式する場面では、図や表、言葉など多様な表現ができることを確認しながら式の意味を考えさせ、正確に立式できる力を身に付けさせる必要がある。また、「正三角形の個数からコインの個数を求める式について説明する」問題で目標値を20.8ポイント下回った。成り立つ性質を生徒が見出す活動を充実させ、数学的な表現を用いて説明し合う場面取り入れていく必要がある。				
	基礎	63.9	58.8	58.9		文字式	39.9	37.0	33.0					
	活用	30.9	35.6	26.2		1次方程式	53.9	52.5	50.6					
領域 別 正 答 率	数と式	55.4	52.8	50.6		比例・反比例	52.9	51.0	47.6					
	関数	52.9	51.0	47.6										
理科				佐伯市		目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均
教科 の 正 答 率	全体	63.6	56.0	56.9	問題 の 内 容 別 正 答 率	植物の分類	60.1	49.3	49.4	＜課題と対策＞ ○問題の内容別に見ると、7つの内容のうち6つは目標値、全国平均値を上回り、概ね良好な結果となった。小問ごとに見ると、「光が目が届くまでの道筋を表す」作図問題の正答率が低く、光の反射における規則性と図で表現することとの関連についての理解が今一歩だった。しかし、説明を記述する問題の正答率は全て目標値、全国平均値を上回っており、根拠をもとに説明することの課題について改善が見られた。今後も、実験結果をもとにした考察やモデル等を活用して実際の現象を説明する活動を行うことや、理科で学んだことが日常生活や社会でどのように活用されているか等について扱う指導の充実を図る必要がある。				
	基礎	62.2	56.2	55.4		動物の分類	71.3	58.8	61.8					
	活用	67.2	55.6	60.9		身の回りの物質とその性質	71.2	60.0	59.6					
領域 別 正 答 率	エネルギー	38.2	38.8	36.5		気体の性質	65.1	58.3	64.6					
	粒子	70.3	63.6	65.1		水溶液の性質	68.2	60.0	60.3					
	生命	64.2	52.7	53.9		物質の状態変化	75.8	73.8	74.5					
						光の性質	38.2	38.8	36.5					
英語				佐伯市		目標値	全国平均					佐伯市	目標値	全国平均
教科 の 正 答 率	全体	54.2	54.0	51.4	問題 の 内 容 別 正 答 率	リスニング(内容理解)	77.5	80.0	82.6	＜課題と対策＞ ○問題の内容別に全国平均と比較すると、「リスニング(内容理解)」以外の内容は全国平均を上回った。 リスニング問題については、「対話の内容を聞き、資料をもとに英語で答える問題」では無解答率が38%を超えた。授業者と生徒、生徒と生徒が対話しながら既習事項の復習や新出文法の習得を行う指導の充実を図る必要がある。また対話練習から読む活動、書く活動につなげる等、複数の領域を関連づける総合的な指導を行う必要がある。				
	基礎	57.0	56.1	54.2		リスニング(対話文の応答)	48.2	50.0	46.0					
	活用	47.2	48.9	44.6		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	94.8	85.0	93.6					
領域 別 正 答 率	聞くこと	65.0	65.6	65.7		語形・語法の知識・理解	50.4	55.0	49.8					
	読むこと	51.0	51.4	48.5		語彙の知識・理解	78.7	67.5	74.6					
	書くこと	49.6	47.8	43.4		さまざまな英文の読み取り	41.6	45.0	40.3					
						長文の読み取り	47.0	46.3	42.3					
						単語の並べ替えによる英作文	52.6	46.3	43.7					
						場面に応じて書く英作文	19.8	25.0	15.1					
				3文以上の英作文		65.4	65.0	61.9						

令和4年度佐伯市学力定着状況調査結果総括＜中学校2年＞

国語				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎・活用ともに全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は、「言葉の特徴や使い方」の領域で全国平均を下回ったが、他の領域では全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、8つの領域の中で、5つの領域の正答率は全国平均を上回ったが、「漢字を読む」「文法・語句に関する事項」「調べたことについて書く」領域については、全国平均を上回ることができなかった。特に「情報と情報のとの関係について理解し、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の改善点を見出す問題」の無解答率が高かった(19.9%)。各情報の関係を理解するために、整理をする活動や自分の考えが明確になるように話の構成を工夫する活動を充実させる必要がある。</p>	
全体	69.8	64.3	68.5		話の内容を聞き取る	74.6	66.7		72.3
基礎	75.5	70.0	74.9		漢字を読む	88.3	83.3		89.8
活用	58.5	52.8	55.6		漢字を書く	67.9	63.3		67.4
言葉の特徴や使い方	77.8	73.9	79.9		文法・語句に関する事項	83.0	79.0		86.2
情報の扱い方	52.5	47.5	51.8		説明文の内容を読み取る	55.2	48.3		50.1
我が国の言語文化	91.9	85.0	91.7		文学作品の内容を読み取る	60.8	58.3		60.5
話すこと・聞くこと	74.6	66.7	72.3		調べたことをもとに書く	52.1	50.0		53.0
書くこと	61.5	54.3	56.8		文章を書く	68.5	57.5		59.7
読むこと	58.0	53.3	55.3						
社会				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎・活用ともに全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は、すべての領域で全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、すべての内容で全国平均を上回った。問題別では「ローマ教皇」についての理解を問う問題で全国平均を7.1ポイント下回った。外国の歴史を学ぶ際、国内の歴史的事象と関連付けて捉えさせ、より確実に定着させていく必要がある。また、歴史的事象と複数の資料に着目して考察したり、表現する問題の正答率が低い傾向が見られた。複数の資料から情報を取り出し、表などに整理し、比較・分類したりして共通点をつかみ、表現する場面を意図的に設定していく必要がある。</p>	
全体	53.2	50.2	48.7		日本の地域的特色と地域区分	54.4	52.5		52.1
基礎	58.4	54.5	53.6		日本の諸地域	64.4	57.9		55.6
活用	42.9	41.5	38.9		ヨーロッパ人との出会いと全欧統一	48.2	45.7		44.0
地理	59.1	55.0	53.8		江戸時代	46.6	45.0		43.3
歴史	47.3	45.3	43.6						

数学				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎は全国平均を上回ったが活用は目標値を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、すべて領域で全国平均を上回ったが数と式及び図形は目標値を下回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に全国平均と比較すると、1次関数のみ全国平均及び目標値を上回った。問題別では「与えられた文章問題に対して、適切な連立方程式を立式する問題」で目標値を14.2ポイント下回った。立式が苦手な生徒でもわかるように問題文に沿って言葉や文字に置き換える指導を丁寧に行う必要がある。また、「特定の条件についてグラフを用いて求める方法について説明する問題」で全国平均を5.0ポイント、目標値を19.7ポイント下回った。条件に沿ってグラフから読み取ったことを表現させ、生徒同士で検証し、捕捉し合うような授業展開を設定する必要がある。</p>	
全体	52.6	53.3	50.5		式の計算	44.6	45.6		39.5
基礎	59.0	58.2	57.3		連立方程式	53.6	56.0		52.8
活用	32.4	38.1	29.6		1次関数	52.7	50.8		49.6
数と式	48.1	49.6	44.6		図形の性質	62.7	68.8		66.6
図形	60.7	65.0	63.3		証明	58.1	60.0		59.0
関数	52.7	50.8	49.6						

理科				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎・活用ともに全国平均を上回った。</p> <p>○領域別正答率は、全ての領域で全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に見ると、物質の成り立ちを除く6つの内容において目標値、全国平均値を上回り、概ね良好な結果となった。小問ごとに見ると、「実験の予想を確かめるための測定値の取り方を構想し、説明する問題」や、「デンプンが含まれていなかったと言える理由を説明する問題」において無解答率が高かった(30.6%、22.0%)ものの、説明を記述する問題の正答率は全て目標値、全国平均値を上回っており、根拠をもとに説明することの課題について改善が見られた。しかし、化学反応式の誤りを修正する問題や分子の様子をモデルで表す問題では目標値を下回っており、実験結果から考察を丁寧に行い、文章で記述したりモデルを使って説明したりすることや、仮説を基にした実験の構想を行うなどの活動を充実させていく必要がある。</p>	
全体	55.4	50.0	51.3		物質の成り立ち	59.0	57.5		59.9
基礎	59.3	53.0	54.8		化学変化	48.5	43.8		42.0
活用	42.2	40.0	40.0		化学変化と物質の質量	41.0	40.0		39.8
エネルギー	63.3	53.8	56.6		生物と細胞	62.1	47.5		48.1
粒子	49.5	47.1	47.2		植物のからだのつくりとはたらき	63.4	55.8		58.2
生命	58.1	51.4	53.3		動物のからだのつくりとはたらき	51.4	48.3		50.2
					電流の性質	63.3	53.8		56.6

英語				問題の内容別正答率					
教科の正答率	佐伯市	目標値	全国平均		佐伯市	目標値	全国平均	<p>＜結果概況＞</p> <p>○教科の正答率は、基礎・活用ともに全国平均を下回った。</p> <p>○領域別正答率は、「聞くこと」の領域のみ全国平均を上回った。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>○問題の内容別に見ると、10の内容のうち5つは全国平均値を上回ったが、「リスニング(さまざまな英文の読み取り)」、「さまざまな英文の読み取り」、「長文の読み取り」、「場面に応じて書く英作文」3文以上の英作文は全国平均値を上回ることができなかった。特に、「対話の流れに合った英文を、相手に伝わるように書く問題」については無解答率が高かった(38.4%)。まとまった英文を読んで概要や要点を把握し、書く活動につなげていく等の複数の領域を関連づける活動を充実させ、計画的・継続的に指導していく必要がある。</p>	
全体	53.9	54.2	54.2		リスニング(内容理解)	83.2	76.7		82.2
基礎	56.7	57.3	56.8		リスニング(対話文の応答)	64.1	62.5		63.3
活用	47.8	47.5	48.6		リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	60.9	55.0		62.0
聞くこと	69.8	65.6	69.3		語形・語法の知識・理解	63.8	62.5		63.6
読むこと	53.5	53.6	53.9		語彙の知識・理解	64.6	55.0		56.1
書くこと	38.7	43.9	39.7		さまざまな英文の読み取り	45.0	47.5		46.0
					長文の読み取り	46.3	50.0		51.1
					単語の並べ替えによる英作文	46.6	46.3		44.3
				場面に応じて書く英作文	12.2	25.0	12.4		
				3文以上の英作文	45.7	53.3	51.8		